



報道関係各位 御中

2018/6/29

『道内林業振興の一助として』

「さし木増殖の手引きー増補版ー」を発行しました

林業試験場では、50年の歳月をかけて、成長が早く材質などが優れているグイマツ雑種F₁「クリーンラーチ」を開発しました。この苗木を殖やすため、「さし木」と呼ばれるクローン増殖方法が用いられていますが、現状ではこの方法で苗木として得られる割合は低いレベルに留まっています。林業試験場では、従来のさし木技術の改善方法を掲載した手引き書を、北海道水産林務部森林整備課と共同で作成しました。同書は、道内苗木生産者やこれからさし木生産を行う方たちをサポートします。

【作成の経緯】

林業試験場が開発したグイマツ雑種F₁であるクリーンラーチは、成長が早く野ネズミの被害を受けにくいだけでなく、炭素吸収能力や材質にも優れており、全国植樹祭や洞爺湖サミットにおける各国首脳の植栽でも用いられました。優良な形質をもつクリーンラーチは林業事業者からの植栽要望も多いのですが、種子が不足しているため、現在ではクローン増殖法である「さし木生産」が行われています。平成29年にはさし木生産数が約13万本に達しました。しかし、この技術で苗木として育った割合は20～30%の水準に留まっており、生産コストの増加から、生産者の意欲減退を招く結果となっています。需要の高いクリーンラーチ苗を増やすためには、この原因を解明し、改善策を提示することが必要です。

これまで林業試験場では、北海道山林種苗協同組合、北海道水産林務部林務局森林整備課と共同して、生産者の体制に合わせた2種類の『さし木増殖の手引き』を平成14年1月と平成23年5月に発行しました。平成28年度から29年度には、道内のさし木生産者の協力により、挿し付け施設内の環境調査、発根調査、成績調査を実施しました。本書は、この調査結果をまとめたものであり、現在の生産者をはじめ、今後さし木生産を始めようとする方への手引き（増補版）として新たに作成したものです。増補版では、生産スケジュールや肥料などの見直しが記載されています。これまでの手引き書とあわせて、道内の苗木生産者をサポートします。なお、本研究は生物系特定産業技術研究支援センター「革新的技術開発・緊急展開事業（うち地域戦略プロジェクト）」の支援を受けて進められました。

※さし木：樹木の枝・茎・葉などを切り取って地中に差し込み、根を出させて新株をつくる方法

【手引き書の体裁】

体裁：PDFファイル 15ページカラー

作成・発行：北海道水産林務部林務局森林整備課
地方独立行政法人北海道立総合研究機構 林業試験場

目次：I. はじめに II. 生産の現状
III. 生産スケジュールの見直し IV. 台木管理の見直し
V. 肥料の見直し VI. 挿し床の管理 VII. おわりに

発行年：平成30年4月



お問い合わせ Contact us

森林研究本部 企画調整部 普及グループ 担当：村川・倉内

住所 〒079-00198 北海道美唄市光珠内町東山（林業試験場内）

電話 0126-63-4164 代表（平日9:00～17:30 土・日・祝日・年末年始はお休みです）

Fax 0126-63-4166

E-mail forestry@hro.or.jp